

令和３年　１月市長定例記者会見

日　　　時：令和３年１月６日（水）　午後１時３０分～

場　　　所：射水市役所会議室３０２

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、
富山テレビ放送、時事通信社、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
未来創造課長、人事課長、商工企業立地課長

○質疑応答の概要

Ｑ１．　２０２１年はどういったことに取り組んでいく年にしたいか。

Ａ１．　２０２１年は新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況が続くことが予想されるが、市民生活・市民の命を守り、また疲弊した経済の回復と感染防止対策の両立を図り、市民一丸となってこの難局を乗り越えていきたい。併せて、新型コロナウイルス感染症終息後の新しい時代を見据えた新たな街づくりに向けた準備も着実に進めていかなければならない。この新型コロナウイルス感染症の影響によって、新しい時代の扉が否応なくこじ開けられた感じもしている。ICTやAIなどの最新技術を活用した市民サービスの質の向上や将来に向けたまちづくりの様々な構想の策定などの取組みを着実に進め、新型コロナウイルス感染症終息後の新しい時代においても、射水市の発展や市民の幸せの実現にしっかり取り組んでいくための、準備の年になると思う。

Q 2. 新型コロナウイルス感染症について、首都圏に緊急事態宣言が出る方向で調整が進められているが（1月6日時点）、このことをどう受け止めているのか。

A 2. 連日多くの感染者が確認されている状況の中で、ある意味では必要な措置であり、首都圏以外の地域においても、人々の考え方に影響を与えたと考えている。感染防止対策については、引き続き高い緊張感を持った取組の徹底をお願いしたい。一方で、可能な活動については必要以上に自粛すると様々な活動・経済に影響が及んでしまうので、正しく理解し正しく恐れながら感染防止にしっかり取り組んでいただきたい。

Q 3. 成人式について、先月の会見では対策を講じたうえで予定通り開催すると発表していたが、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、改めて成人式の対応について伺いたい。

A 3. 首都圏を中心とした一都三県で緊急事態宣言が発出されるという状況ではあるが、感染防止対策を万全に講じた上での開催に向け、準備を進めてきた。式典については現在のところ開催したいと考えている。しかし、緊急事態宣言が発出されると、特に一都三県の方々については参加が難しいのではないかと考えている。そういった場合には、かねてから発表している県立大学と共同開発した AR アプリやライブ配信・フォトアルバムなどの取組みを活用してほしい。感染防止対策を徹底し、記憶に残る成人式にしていだければと思う。また、式が終わってからの新成人の行動も非常に重要になると考える。従来であれば友人との会食などを予定されることもあると思うが、こういった状況のため、感染拡大防止の意識を高くもって、大人数での会食、必要以上に騒ぐなど感染リスクの高い行動を厳に控えていただくよう強くお願いしたい（1月6日時点）。

Q 4. 市長が今年の11月に任期満了を迎えるが、市長選への対応について現時点で考えがあれば伺いたい。

A 4. 現状は、コロナへの対策に全力を傾注していく所存である。市長選については支援者や後援会などに相談し、いろんなご意見を頂戴しながら、しかるべき時期にご案内したい。

Q 5. 市長選への対応について、いつごろまでに判断したいというのがあったら伺いたい。

A 5. いろんな意見を頂戴しながら判断したいと思っているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、意見の集約が難しい状況にある。そのような中で期限を区切って判断することは難しいが、できるだけ早い時期に判断できればと考えている。

Q 6. 新年度の予算編成について、新しい知事が就任したことによる影響があれば伺いたい。

A 6. 現在、新年度の予算については県でも予算編成作業中であるので、まだ内容がわからないが、現時点では、影響は見受けられない。